

令和6年6月27日
文教・福祉常任委員会資料
教育部生涯学習課

令和5年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、
別紙のとおり報告いたします。

令和5年度 事業報告書

令和6年5月29日

施設名	宇治市総合野外活動センター
団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表者名	代表理事 杉本 厚夫
指定管理期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日（5年間）

（1）業務実施状況報告（令和5年度）

【管理運営に関する基本方針と結果について】

当法人は令和4年度からの5年間、指定管理者として宇治市総合野外活動センター運営を受託している。

お客様がアクトパル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

○豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。

○自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。

○地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より導入された利用料金制度を自立した経営力を発揮するチャンスととらえ、お客様のニーズに合わせたテントエリアの拡大や予約不要工作イベントの開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や人員配置の見直し等、必要経費の削減にも努めてきた。令和5年度は団体利用促進にむけた広報活動の強化や、オートキャンプ等の新規事業の開発に取り組むとともに、新たに食堂や売店でのキャッシュレス決済を導入した。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施するとともに、緊急修繕も適宜実施し、お客様に安心安全に利用していただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売等、必要に応じて協議の場を設けた。

令和5年5月には新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、宿泊や炊事利用の利用数制限を徐々に緩和した。団体利用については早期予約の上で利用されるケースが多いことから、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによる利用者数の回復効果が見ら

れるまで一定の時間を要したが、年度後半は利用が回復し、年間利用者数は 90,091 人と前年より約 16%増加した。最終的な利用料金収入は自治体の旅行支援事業分（約 35 万円）を含め約 3,395 万円（当初予算比マイナス約 70 万円）となった。

社会情勢の影響により電気料金が予算額より大幅に値上がりしており、当初予算比で約 380 万円の支出増となった。光熱費の高騰や収益の柱である団体利用の回復の遅れが収支に大きな影響を与えることになったため、リスク分担にかかる宇治市との協議の結果、令和 5 年度は指定管理料を約 700 万円追加する形で指定管理変更協定を締結した。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策について】

誰もが公平・平等に施設を利用し、自然の中で野外活動を体験できるようユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設運営を行うとともに、関係法令及び宇治市の関係例規を遵守し、施設の公平、平等利用に努めた。

- ・多目的トイレに洗浄機能付き便座を設置した。
- ・小さなお子様や車いすをご利用の方にも身近にグラウンド・ゴルフを楽しんでいただけるよう、子ども用クラブ、車いす用クラブの利用を案内し、幅広い利用を促進した。
- ・施設内の移動が困難なお客様には車いすの貸出しや、車両での施設内送迎を行った。
- ・障がいがあるお客様や体の不自由なお客様、アレルギーをお持ちのお客様等がより快適に食事、宿泊、体験活動などを行えるよう、予約の段階からご要望の聞き取りや打合せを行い、安心してご利用いただけるように努めた。
- ・予約不要、参加無料で誰でもご参加いただける事業を定期的で開催し、施設をより多くの方にご利用いただき、野外活動に親しんでいただく機会を提供した。

【利用拡大の取組結果について】

[5 年度の取組]

- ・「スポーツ合宿プラン」「研修プラン」のチラシを作成し、近隣の高校、大学、スポーツ団体、企業等に案内するとともに、資料を送付し新規利用団体の獲得、利用促進を目指した。
- ・アウトドアショップにチラシの配架を依頼し、PR を図った。
- ・三角広場をオートキャンプ場として活用するオートキャンププランの提供を開始した。
- ・常設テントの利用促進を図るため、特別プラン「森と星キャンプ」の提供を開始した。
- ・お客様の利便性を高めるため、有料貸出物品を追加した。（アウトドアテーブル、アウトドアチェア等）
- ・工作棟の利用促進を図るため、予約不要で工作棟で各種クラフト体験ができるイベントとして新たに「工作棟オープンデー」を実施した。
- ・宇治市子どもの読書活動推進委員会との連携事業として令和 4 年度に管理棟ホール図書コ

ーナーに設けた子ども読書コーナー「えほんの森」スペースに、京都府の「豊かな森を育てる交付金事業」を活用して新たにキッズハウスや絵本棚、子どもベンチ等を配置し、利用者により一層読書を楽しんでもらえるよう環境の充実を図った。

[4 年度の取組]

- ・「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」に参加し、割引価格で宿泊利用いただけるよう調整を図った。
- ・京都府の「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」や、一般社団法人日本旅行業協会等が作成した「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」を基準とした感染症予防対策を行った。
- ・ホームページをリニューアルし、情報発信を強化した。
- ・キャッシュレス決済を導入し、お客さまの利便性向上を図った。あわせてレジアプリも導入し、受付事務の効率化を図った。
- ・宇治市教育委員会の読書推進活動との連携事業として、管理棟ホール図書コーナーに新たに幼児向け絵本コーナー「えほんの森」を設けた。
- ・宇治市立図書館と連携し、予約図書受取所としてアクトパル宇治配本所サービスを開始した。
- ・予約不要の工作プログラム「つくってあそぼう！」を実施した。
宇治市内公民館や生涯学習センターでのイベントに出店し、施設外で工作プログラムを提供した。
- ・通算来場者数 200 万人達成を記念して「記念式典」を企画したが、台風の影響により中止した。「秋のひろば」で無料宿泊券や地元特産品の当たる「200 万人達成記念抽選会」を開催し、施設の PR につなげた。

[継続的な取組]

1. 屋内施設においては、清潔な空間を維持できるよう施設管理を行った。
 - ・施設の各所に季節ごとの自然の草花等を配置し、清楚感を取り入れ日々の清掃にも注意を払った。
 - ・5 月連休明けの新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後は影響縮小に伴い、宿泊室、炊事棟等の施設利用数制限を解除し、利用促進につなげた。また引き続き安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組んだ。(利用定員制限、消毒液の設置、入所時の検温確認等)。
 - ・イベント開催にあたっては、状況に合わせて定員数や実施回数、内容の調整等、感染予防対策を徹底した上で実施した。
2. 屋外施設については、自然環境を大切にし、自然と一体となった施設管理を行った。
3. 施設を有効に活用した事業ならびに自然やふるさとを体験できる事業を開催した。

- ・「お茶つみ体験」「ふるさとを味わおう！」「星空とホテル観察」等の事業を実施した。
4. 申込不要で気軽に参加できる事業、ならびに利用の減少する冬期の集客を目指した事業を開催した。
 - ・無料で天体望遠鏡での星空観察ができる「星空オープンデー」を開催した。
 - ・「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」を冬期に実施した。
 - ・「春まつり」「秋まつり」「アクトパルであそぼう」等の無料イベントで施設のPRを図った。
 5. 農業や自然等、笠取地域の特色を生かした事業を開催し、地域の魅力を体験してもらうとともに地域住民との交流の機会を設けた。
 - ・「お茶つみ体験」「ふるさと体験（稲刈り、しいたけ菌打ち、餅つき体験）」「じゃがいも掘り」「さつまいも掘り」「ふるさとハイキング」等を企画した。
 6. 宇治市総合野外活動センター主催のグラウンド・ゴルフ大会を月例で開催した。
 7. 様々な利用形態の受け入れ
 - ・宇治を舞台にしたアニメ「響け！ユーフォニアム」の影響で来場される方向けに、案内ポスター等を設置した。
 - ・ドローン講習会の会場として広場の使用を許可した。
 - ・結婚式、披露宴の会場として施設をご利用いただけるよう調整・案内した。
 - ・宇治市立図書館と連携し、予約図書受取所としてアクトパル宇治配本所サービスを提供した。
 - ・宇治市内公民館でのイベントに出店し、施設外で工作プログラムを提供した。

【利用料金収入の結果について】

団体利用において新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによる利用者数の回復効果が見られるまで一定の時間を要したが、年度後半は利用が回復し、最終的な利用料金収入は自治体の旅行支援事業分（約35万円）を含め約3,395万円（当初予算比マイナス約70万円）となった。

[利用料金収入（自治体の旅行支援事業補助を含む）]

令和4年度 約2,640万円

令和5年度 約3,395万円

【自主事業に関する取組結果について】

1. 食堂・売店運営を笠取ファームに委託し地元特産物の販売やPRを行った。
 - ・食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。
 - ・「春まつり」「秋まつり」「新春笠取市」等で野菜や特産物の販売を実施した。
 - ・食堂新メニューとして「天井」「豚丼」を販売した。

- ・鍋焼きうどんとグラウンド・ゴルフをセットにした割引プランを提供した。
- 2. 宇治市内公民館等で出張教室を実施し、工作プログラムを提供するとともに施設の PR を図った。
- 3. 新たにオートキャンププラン、森と星キャンププランを開発し、提供を開始した。

【情報発信の取組結果について】

1. 宇治市「市政だより」へのイベント開催予定の掲載をした。
2. 新聞各社へ自主事業等の掲載を依頼した。
3. FM うじ「宇治市探検」でイベント、施設紹介をした。
4. 宇治市総合野外活動センターのホームページにより、宿泊等予約情報やイベント情報案内の配信をした。
5. メールアドレス登録者に対して、メール配信により情報提供した。(イベント参加者に対する次回イベントの通知) 令和 6 年 3 月現在登録者数約 3,600 人
6. 雑誌等の取材に積極的に協力し、『まっぷる』『ファミリーウォーカー』『じゃらん』『クルール』『ワイヤーママ』『Leaf』等に施設紹介記事が掲載された。
7. 「観光宇治」(宇治市観光協会発行)にイベント情報を掲載した。
8. SNS (Facebook、Instagram、X) を毎日更新し、施設のトピックやイベント情報等の発信を行った。(令和 6 年 3 月末現在 Instagram 863 人、X 510 人、Facebook 626 人)
9. テレビ番組取材に協力し、施設を PR した。
10. ホームページ上で、施設予約状況を公開した。
11. Web 情報サイト (号外ネット、ALCO) に情報提供しイベント情報を掲載いただいた。

【管理運営体制等について】

[職員体制]	
1. 財団事務局長	1 人
2. 財団職員	3 人
3. 財団嘱託 (常勤)	6 人
4. 財団管理嘱託 (宿直)	4 人
5. 臨時職員	6 人
[職員研修計画と実施状況]	
1. 職員研修の実施	
<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアイノベーションサミット ・キャンプイノベーションサミット ・公益法人向けセミナー (経理、法改正対応) ・日常研修 : 毎朝のミーティング時に実施 	

2. 職員取得資格

・危険物取扱者免状	3人
・甲種防火管理講習修了証保有者	2人
・学芸員資格	1人
・保育士資格	1人

【地域との連携、市民参画の結果について】

1. 地域：地域との交流、連携、貢献を大切にし、地域振興の拠点となるよう努めた。
 - ・「秋まつり」「新春笠取市」等で「地元農家」「笠取小学校」に協力を仰ぎ、イベントに出展していただいた。
2. 関係機関：市内の小中学校ならびに幼稚園、保育所との連携に努めた。
 - ・市内各小学校の「林間学習」を効率よく実施するため、代表校と日程の調整や合同説明会を実施した。
 - ・笠取小学校の授業や自然観察活動の一環で、施設をご利用いただき、またイベント開催にも協力いただいた。
3. 団体：（有）笠取ファームと連携し、地域の活性化に努めた。
 - ・（有）笠取ファームに、宇治市総合野外活動センターの植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。また、食堂においては、新型コロナウイルス感染症対策で休止していた冬季限定の「笠取鍋」を再開した。他にも一人用鍋で「鍋焼きうどん」「釜めし」を提供した。また、食堂新規メニューとして「豚丼」「天丼」を販売した。
 - ・食堂では地元産の米を使用し、売店でも地元産の米や野菜、果物の販売を行った。その他、不定期で「笠取市」を開催し、笠取の魅力発信につなげた。
 - ・食堂の感染防止対策として、定員数の縮小や定期的な換気、手洗い消毒の励行、カウンターに飛沫防止シート、客席にパーテーションを設置するなど感染防止対策を実施した（飛沫防止シート、パーテーションは6月末で撤去）。
4. 登録団体等：ボランティア団体等の活動を支援し、宇治市総合野外活動センターの特性をアピールした。
 - ・天体観察を天文ボランティアと協力し実施した。
 - ・「宇治市野外活動協会」との協働によるキャンプイベント「親子 de キャンプ」を開催した。
5. 団体その他
 - ・eco ット宇治の活動に賛同し、「春まつり」、「秋まつり」に出展いただいた。
 - ・eco ット宇治と共同で、雑木林の再生をめざした「どんぐりプロジェクト」を実施した。
 - ・京都文教大学と連携し、学生インターンを受け入れた。
 - ・アルペンアウトドアーズ宇治店と相互集客に向け提携を結んだ。

【トラブル対応、防犯、防災対策について】

1. トラブル対応

お客様の安全を第一に考え、接客、施設管理に努め、注意事項の喚起、施設保全を図った。

- ・施設内にできたスズメバチの巣を駆除した。
- ・安全管理のため、要修繕箇所について、適宜修繕を行った。

2. 防犯対策

- ・職員の防犯に対する意識の向上に努めるとともに、夜間の施設内出入りについては極力無
いようお客さまに協力をお願いした。
- ・玄関、受付等に防犯カメラを設置し、モニター監視した。

3. 防災対策

- ・台風の接近時には、施設の安全点検や倒木撤去作業を行った。
- ・宇治東消防署の査察を受け、防火対策の確認を行った。
- ・日頃の点検を重視し、非常時に備え「災害対策体制」の確認を行った。
- ・火災を想定した自衛消防訓練を実施した。
- ・アスレチック遊具の安全点検を実施した。(年1回実施)
- ・防火設備法定点検を実施し、不良箇所の修繕を行った。(年2回実施)
- ・熱中症予防にチラシ配布や放送での呼びかけ、温湿度計の設置を行った。
- ・高温注意情報、光化学スモッグ、食中毒注意報発令時に、放送やチラシで注意喚起した。
- ・新型コロナウイルス感染症に備え、5 類移行後も施設各所に消毒用アルコールを設置してい
る。
- ・密を避けるため炊事棟の利用テーブルを制限し、テーブル間隔をあけて利用できるように
した。(5 月以降徐々に制限を解除した。)

【利用者要望の把握状況及び実施策について】

1. 日常の接客にあたり、会話を重視し、お客様の「声」を積極的に聴取した。

- ・宿泊退室時「ご利用に関するアンケート」に、意見を記入してもらい、参考にした。
- ・食堂メニューの改善要望に対して、(有) 笠取ファームとの協議を行った。
- ・現金以外の支払い方法に対応するため、令和 4 年度からクレジットカード、電子マネー等
が利用可能なキャッシュレス決済を導入している。令和 5 年度より利用可能な決済事業者
を追加し、キャッシュレス決済利用率は約 35%となっている。
- ・令和 4 年度からグラウンド・ゴルフ愛好者に向けお得な利用回数券を販売している。

2. 各種事業の実施後、アンケートを実施し、お客様の声を事業に反映した。

- ・WEB アンケートを導入し、回答・集計の効率化を図った。

【サービス向上取組内容について】

- ・現金以外の支払い方法に対応するため決済システム（Air ペイ）を導入し、各種クレジットカード、電子マネー、QR で支払えるようになり、お客様の利便性に加えて、現金徴収、精算事務の短縮等の管理業務の効率が向上した。あわせてレジアプリも導入し受付事務の効率化を図った。また利用可能な決済事業者を追加し、より利便性を高めた。
- ・予約不要の工作体験プログラム「つくってあそぼう！」「工作棟オープンデー」を実施した。
- ・研修室においてワーケーション利用や企業や学校の会議スペースとしても活用できるようリモート会議の設備を整えた。
- ・陶芸プログラムの効率的な運用、利用者の満足度向上につなげるため、積み立ててきた資金で電気陶芸窯を新たに購入した。
- ・山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携し図書配本サービスを提供し地域サービス向上に貢献した。
- ・宇治市子どもの読書活動推進委員会との連携事業として令和 4 年度に管理棟ホール図書コーナーに設けた子ども読書コーナー「えほんの森」スペースに、京都府の「豊かな森を育てる交付金事業」を活用して新たにキッズハウスや絵本棚、子どもベンチ等を配置し、利用者により一層読書を楽しんでもらえるよう環境の充実を図った。

【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】

1. 経常経費の縮減について

- ・こまめに電気を切り、お客様に対してもポスター等で節電・節水を呼びかけるなど、光熱水費の縮減に努めた。
- ・電話通話料割引サービスに加入し、通信コストの削減に努めた。
- ・電気コスト削減に向け、高圧電力料金を比較し、令和 4 年度より料金の安い電力会社と契約したが、電気料金の大幅な値上がりにより、当初見込みより約 380 万円の経費増となった。
- ・緑のカーテン(ゴーヤ)を設置し、クーラー利用の縮減に努めた。
- ・各種契約の内容や回数の見直しにより経費を縮減した。
- ・令和 4 年度に人員構成の見直しを行い、約 370 万円の経費削減を継続した。

2. 低コストの追求について

- ・利用頻度を考慮して、貸出備品を見直し、内容を整理して、維持コストの削減・作業の効率化を図った。
- ・値動き幅の大きい灯油は、2 か月ごとの契約更新とし、価格変動に対応した。

<p>【個人情報保護措置と実施状況について】</p> <p>個人情報保護法に基づき適切に対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した個人情報については規則に基づき厳重に管理した。 ・ イベント申込等でお客様の個人情報を web 上で送信いただく際には S S L (Secure Socket Layer) を利用し暗号化した上で送受信した。(セキュリティ対策) ・ イベント案内や施設の最新情報を発信するメールインフォメーション送信時は、個人情報漏洩防止のため、専用メールリングソフトを使用した。
<p>【情報公開対応と実施状況について】</p> <p>令和 5 年度においては情報公開請求なし。</p>
<p>【その他】</p> <p>特になし</p>

(2) 施設利用状況報告 (令和5年度)

【施設利用状況】 1. 入館 (場) 者数			
<p>新型コロナウイルス感染症の5類移行後も団体利用の回復に一定の時間を要したが、制限の緩和により年間を通じて利用が回復し、年間利用者数は前年度比約16%増となる90,091人となった。</p> <p style="text-align: center;">令和5年度 利用者数 (単位: 人)</p>			
	令和4年度		令和5年度
宿泊利用	24,655		30,450
日帰り利用	53,194		59,641
合計	77,849		90,091
【施設利用状況】 2. 貸館状況			
<p style="text-align: center;">令和5年度 施設別利用者数 (単位: 人)</p>			
		令和4年度	令和5年度
宿泊施設	管理棟宿泊室	1,954	2,128
	宿泊棟宿泊室	18,061	23,888
	テント (フリーテントサイト日帰り利用者含む)	3,728	3,358
	山の家	1,298	1,405
	合計	25,041	30,779
その他施設	研修室	7,422	9,624
	体育館	15,225	18,208
	天体観察室	2,250	3,374
	工作棟	9,906	9,440
	野外炊事棟	20,918	23,578
	グラウンド・ゴルフ場	5,480	5,488
	合計	61,201	69,712

(3) 管理経費収支報告 (令和5年度)

(単位: 千円)

施設名		宇治市総合野外活動センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	113,551	120,590	指定管理料	
	利用料金収入	34,635	33,955	直接収納分 府旅行補助	
	その他	8,551	7,585	工作・体験事業収入等 電気窯積立取崩 その他	
収入合計 (A)		156,737	162,130		
支出	人件費	81,758	82,201		
	事務費	8,785	8,742	租税公課	7,971
				その他	771
	管理費	59,227	66,716	修繕料	4,844
				光熱水費	13,500
燃料費				1,823	
委託料				33,891	
賃借料				4,928	
電気窯更新費用 その他				1,989 5,741	
事業費	6,574	4,521	ボランティア報償費	1,368	
			事業材料費等	3,153	
その他	393	0			
支出合計 (B)		156,737	162,180		
収支 (A) - (B)		0	-50		

実績における市からの委託料 (120,590 千円) は、光熱費の高騰及び需要変動に対してリスク分担に基づき、委託料を増額して対応を行った後の金額

(4) - 1 事業実施状況報告（令和5年度）

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特になし		

(4) - 2 事業収支状況報告 (令和5年度)

団体名 公益財団法人宇治市野外活動センター

(単位：千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり 参加費	収支 (A) - (B)	収入		支出 (B)		
			市からの 委託料	参加費 (A)	講師 謝金	材料費 等	その他
特になし							
計							

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入すること